

4. コメッセ探偵団

●去る8月22日、新潟大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーに於いて、NTSが新規事業として取組む「めざせ コメッセ! キミも科学・自然探偵団!」(略称:コメッセ探偵団)の結団式、兼、記者発表を行なった。

コメッセ探偵団とは、身近な自然現象に疑問を持ち、それをティーチングアシスタントの指導のもと研究機関や企業などに調査・取材することで科学を楽しく理解していく活動である。最初に取り組んだテーマは日本人の主食であり、新潟の特産物である“米”に係る食、環境、産業や伝統工芸などである。

理工系の学術専門出版社であるNTSが、地域での科学イベントを通じてサイエンスコミュニケーション(SC)活動を実践するに至った背景は、全国の研究者・専門家と日々接触する中、地域の一般市民・青少年に向けて科学をもっと身近に伝える活動の重要性を認識し、更に地域の方々との双方向サイエンスコミュニケーション活動の中から、地域には新たな情報発信の可能性が秘められていると考えたからである。この考えに「未来材料」の編集委員長である遠藤剛教授、同編集委員の新潟大学の坪川紀夫教授他、これまで出版活動でお世話になった先生方にご賛同いただき、昨年12月にNPO法人「新潟の科学・自然探偵団」(通称NIKST)を設立した。新潟県下では既に多くのSC活動が展開されているが、それらの活動を線に繋ぎ、更に面に広げネットワーク化して相乗効果をだしていく。SCには、科学を通じて専門家と一般市民が情報交換することで地域活性化に繋げる可能性が秘め

られている。

●「結団式」には約50名の関係者と新潟テレビ21、新潟日報社、読売新聞等のマスコミ各社が集まった。

新潟大学仙石正和理事の挨拶に始まり、坪川紀夫教授から企画概要の説明、探偵団の紹介へと移った。小学生、高校生、主婦、大学生など9組の探偵団が参加し、テレビカメラを前にして緊張しながらもそれぞれ抱負を語った。

本事業の連携機関である新潟市企画調整課戸嶋文明氏より「コメッセ探偵団に期待することは新産業の創生である」とのコメントを、また、JSTイノベーションサテライト新潟の科学コミュニケーター五味由紀子氏より「コメッセ探偵団の活動に期待している。応援したい」というエールをいただいた。

新潟大学農学部・地域連携フードサイエンス・センター長、門脇基二教授より、「米を科学探求の入り口にした企画、特にここ最近米粉への社会的な関心が高まっている事もあり、時宜を得た内容と思う。探偵団の皆様からの質問などにつき、我々研究者がそれに答え、素晴らしい発表が出来る様協力して行きたい」との閉会のことばで盛況のうちに終了した。

尚会場には当社の出版事業(執筆や試読など)で関係の深い新潟大学の先生方が多数参加されお声をかけていただいた。

●出版社と著者と読者が一堂に集うイベント事業は「直販事業」の延長線上にあり、むしろ「イベント事業は直販事業の原点」である。

コメッセ探偵団の事業展開では以下の2点をめざしている。

1) 国、新潟県下の企業、団体の資金援

助を得つつ「コメッセ探偵団」を科学を基盤とする地域振興-新生活の創造、新産業の創生の場として育成したい。その事業展開にはメディアとして「探偵団ニュース」を活用する予定である。

2) 「コメッセ探偵団」が生み出す情報を「コメッセ学」と名付け、科学に関心を持つ一般読者向けに編集・書籍化して全国に普及したい。編集コンセプトは「科学が学べる・生活に役立つ・新潟を楽しむ」新ジャンルの書籍シリーズ化をめざしたい。

進化する情報企業NTSはSC事業を展開し、生活と産業のイノベーションに向けて社会に新風を吹き込みたいと考えている。

【参加探偵団】

- 1:新潟県立直江津高校
【テーマ:モチ米はご飯になれないのか?】
- 2:(独)長岡工業高等専門学校
【テーマ:当校活動との連携探偵団活動】
- 3:新潟県立新潟西高校【テーマ:米の温故知新】
- 4:新潟県立新潟西高校【テーマ:米からの水飴】
- 5:新潟気軽に省エネくらぶ
【テーマ:米粉の料理を科学する】
- 6:小浦方ファミリー【テーマ:もみ殻の発酵】
- 7:大泉PTAグループ
【テーマ:もみ殻の炭の性質】
- 8:新潟サッカー大好きクラブ
【テーマ:稲ワラからのバイオエタノール】
- 9:新潟県立巻総合高校【テーマ調整中】



一粒のコメから地球が見える
11月8・9日(土・日)開催

◎編集後記

近頃頻りに起きるゲリラ的豪雨と落雷、地震などに襲われるにつれ、自然災害の怖さを垣間見ます。9月1日の防災の日や防災週間に災害対策を再確認された方も多いかもしれません。災害用ブロードバンド伝言板や災害用伝言ダイヤル「171」は、NTT公式HPで利用方法の確認や体験ができ、「防災・危機管理e-カレッジ」では災害知識や対策を無料で学べます。内閣府のHPでは地震や水害、災害復旧・支援情報などの詳しい情報の公開も。その他、家族の非難場所を決めておく、携帯ラジオや携帯充電器を持ち歩くなど、探せば探すほど、できることが見つかります。自分でできる安心づくりに努めたいところです。(坂)

◎編集部からのお願い

NTSニュースでは読者の皆様からのお便りや投稿をお待ちしております。また、開催予定の勉強会・イベント等、掲載をご希望される方は下記宛までご連絡ください。

〒113-0034 東京都文京区湯島2-16-16 (株)エヌ・ディー・エス「NTSニュース」係
FAX: 03-3814-9152 E-mail: eigyo@nts-book.co.jp

NTSニュース

2008年9月号(通巻115号)
2008年9月10日発行